

(参考資料 3)

医療情報ネットワークの基盤に関する ワーキンググループでの論点

- ① 電子カルテ情報及び交換方式の標準化
- ② 共有・交換する情報
- ③ 共有・交換する手続きと方式
- ④ 電子カルテ内の標準化等
- ⑤ コスト・拡張性
- ⑥ 電子カルテの普及

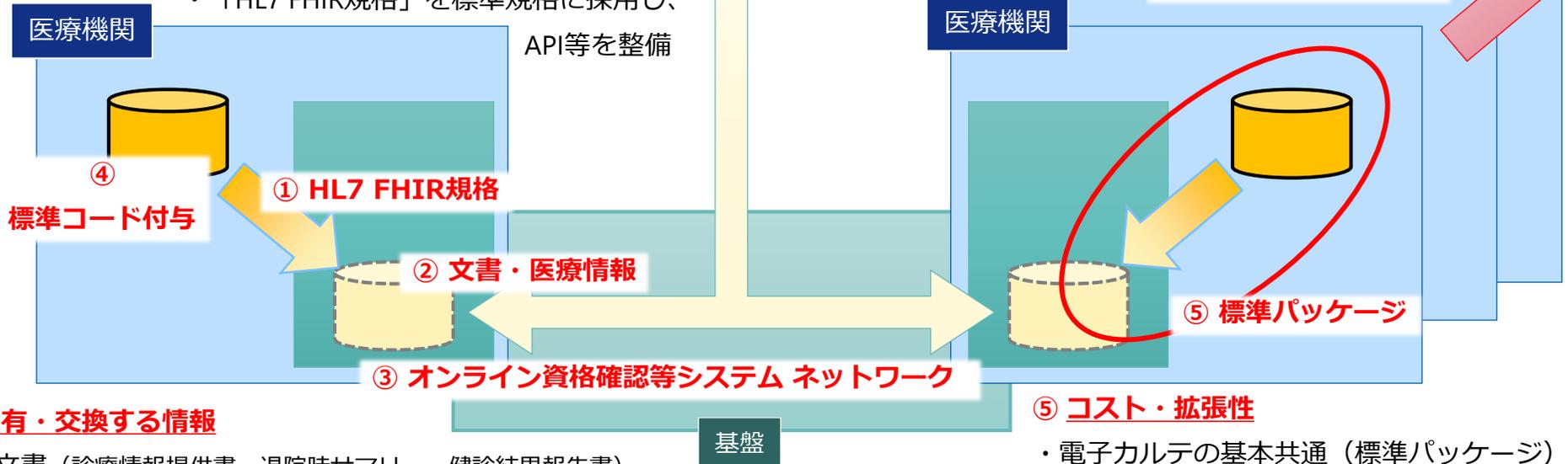
医療情報ネットワークの基盤に関するワーキンググループでの論点

④ 電子カルテ内の標準化等

- ・「共有・交換する情報」に付与する標準規格コードを明確化・整備する。
- ・標準規格コードを付与する仕組みや保守管理する体制を検討・調整する。

① 電子カルテ情報及び交換方式の標準化

- ・「HL7 FHIR規格」を標準規格に採用し、API等を整備



⑥ 電子カルテの普及

- ・医療情報化支援基金等による普及の促進等

⑥ 支援基金・診療報酬

④ 標準コード付与

① HL7 FHIR規格

② 文書・医療情報

③ オンライン資格確認等システム ネットワーク

⑤ 標準パッケージ

⑤ コスト・拡張性

- ・電子カルテの基本共通（標準パッケージ）機能で実装、更新・機能拡張をする等、拡張性を担保しながらコスト低減をはかる。

③ 共有・交換する手続きと方式

- ・オンライン資格確認のインフラ（ネットワーク）活用等を視野に、利用目的に関する課題や技術面の課題、費用負担のあり方、費用対効果の評価等について、関係機関等と検討・調整する。

② 共有・交換する情報

- ・3文書（診療情報提供書、退院時サマリー、健診結果報告書）
- 7医療情報（傷病名、アレルギー、感染症、薬剤禁忌、検査:救急,生活習慣病、処方）の医療機関間でのやりとりで必要な情報の標準化を進めつつ、PHRの観点から有益な情報、医療機関-行政・学会等とのやりとりで必要な情報への拡充も進める。